

# POD/Teikyo Collaboration Project

## 2015 会場 帝京大学八王子キャンパス SORATIO SQUARE [ソラティオ スクエア]

東京都八王子市大塚359

9/11 FRI 12 SAT 13 SUN

参加費  
無料

[国際シンポジウム 同時通訳あり & ワークショップ開催]



Dr. Michele DiPietro  
(POD President 2012-13 Kennesaw State University • Executive Director • Center for Excellence in Teaching and Learning)



Dr. Kathryn M. Plank  
(POD President 2013-14 Otterbein University • Director • Center for Teaching and Learning)



Dr. Deandra Little  
(POD President 2015-16 Elon University • Director • Center for the Advancement of Teaching and Learning)



Dr. Michael Palmer  
(2014 POD Network Innovation award University of Virginia • Associate Director • Teaching Resource Center)

本プロジェクトは、アメリカのFD組織であるPODネットワーク(The Professional and Organizational Development Network in Higher Education, USA)と帝京大学高等教育開発センターによる、FD活動の国際化とネットワーク化を推進する共同プロジェクトです。本プロジェクトではPODネットワーク関係者を招聘し、2つのワークショップと国際シンポジウムを予定しております。多くの大学等関係者の皆様のご参加をお待ちしております。

プログラム	日程	定員
ワークショップ①	9月11日・12日・13日	30名
ワークショップ②	9月11日・12日・13日	15名
国際シンポジウム	9月12日	500名

※プログラム詳細は裏面をご覧ください。

### お申込方法

「POD/Teikyo Collaboration Project 2015」のプログラムの中から受講希望のプログラムを選び、下記帝京大学高等教育開発センターWebサイトからお申込みください。

折り返し届く返信メールは受講証となりますので、当日ご持参ください。この受講証は国際シンポジウムの同時通訳レシーバーの引換証も兼ねております。

申込URL <http://appsv.main.teikyo-u.ac.jp/~ctl/pod/>

#### ■申込み期間

- ① 帝京大学グループ関係者 平成27年7月 1日～8月31日
- ② ①以外の高等教育関係者 平成27年7月13日～8月31日

#### ■受講料・参加費

ワークショップ①②・国際シンポジウムの受講料・参加費は無料になります。



9/11 FRI - 13 SUN

[workshop]

ワークショップ① 定員30名・先着順

大学教員のための学習者中心の  
コースデザイン

英語  
講座  
通訳なし

学習者中心のコースデザインの方法を学ぶ

■講座概要(主に教員対象)

教育と学習は表裏一体の関係にあります。効果的な教育とは、学習成果で測定できます。すなわち、Pat Cross とTom Angeloが明言しているように、「学習なしで教えることは、ただのおしゃべりに過ぎない」ということです。したがって、教育者としてすべき最も重要なことの1つは、学習過程を理解することです。そのために、教育は意図的に学習者中心になります。本ワークショップでは学習成果を測定できるコースデザインの方法について学びます。3日間のワークショップは、上記のことを踏まえて行われます。3日間のワークショップをすべて受講した場合、POD/帝京大学より修了証が授与されます。

■POD講師

Dr. Deandra Little Dr. Michael Palmer

■ファシリテーター

土持ゲーリー法一、森 玲奈(帝京大学高等教育開発センター)

■スケジュール

9月11日(金) 14:00~17:00  
9月12日(土) 9:00~12:00  
9月13日(日) 9:00~16:30

ワークショップ② 定員15名・先着順

新任FD担当者のための  
基礎能力開発

英語  
講座  
通訳なし

FD活動の企画および運営について学ぶ

■講座概要(主に大学等でFDを担当する教職員対象)

学習者中心の教育を実践し社会への説明責任を果たそうとする大学にとって、FDは重要な取り組みです。そのためFD担当者というキャリアはますます重要となっていますが、FD担当者となる道筋は国際的にも標準化されていません。本ワークショップでは、FD担当者として必要な基礎的知識やスキル等の講義や演習、意見交換の場を提供します。受講者は研修を通して相互に学び合うネットワークを構築することができ、その繋がりは自身がFD活動を企画、運営、評価する際に貴重な手助けとなるでしょう。3日間のワークショップをすべて受講した場合、POD/帝京大学より修了証が授与されます。

■POD講師

Dr. Michele DiPietro Dr. Kathryn M. Plank

■ファシリテーター

井上 史子、上岡 真紀子(帝京大学高等教育開発センター)

■スケジュール

9月11日(金) 14:00~17:00  
9月12日(土) 9:00~12:00  
9月13日(日) 9:00~16:30

9/12 SAT

[international symposium]

国際シンポジウム 同時通訳あり 14:00~17:00(予定) 定員500名・先着順

テーマ

パラダイム転換の未来(さき)にあるもの  
~21世紀の教授、学習、大学組織を語ろう~

■プログラム概要

教育から学習への転換(パラダイム転換)が大学教育を根本から見直す契機となったことは、アメリカも日本も同じです。パラダイム転換の提唱者の一人、John Taggは1995年の論文のなかで「大学とは学習(ラーニング)を生み出すために存在する機関である。この転換がすべてを変える」と述べています。それから20年、何がどう変わったのか考えてみる必要があります。本国際シンポジウムでは、パラダイム転換の未来(さき)にあるものについて、教授、学習、大学組織を通して広く語ることを企画しています。講演者および指定討論者として、アメリカ最大のFDに関する専門家組織であるPODネットワークから現会長および会長経験者、さらに文部科学省、読売新聞社、帝京大学からは理事長・学長、高等教育開発センター長など、多彩なメンバーに登壇いただき、熱い議論を展開したいと考えております。

■講演者

沖永 佳史(帝京大学 理事長・学長)  
合田 哲雄(文部科学省教育課程課長)  
Dr. Michele DiPietro  
Dr. Deandra Little

■総司会者

井上 史子(帝京大学高等教育開発センター)

■指定討論者

松本 美奈(読売新聞社専門委員)  
土持ゲーリー法一(帝京大学高等教育開発センター長)  
Dr. Kathryn M. Plank  
Dr. Michael Palmer



SORATIO SQUARE(ソラティオ スクエア)



沖永 佳史 帝京大学 理事長・学長  
合田 哲雄 文部科学省教育課程課長  
松本 美奈 読売新聞社専門委員  
土持ゲーリー法一 帝京大学高等教育開発センター長

お問合せ

帝京大学高等教育開発センター TEL●042-678-3976 Mail●ctl@main.teikyo-u.ac.jp